

# 平成 25 年度「全国学力・学習状況調査」における 旭東中学校の結果の分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成 25 年 4 月 24 日（水）に、3 年生を対象として、「教科（国語・数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にさせていただきたいと思っております。

## 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査の対象

- ・ 3 学年（191 名）

## 3 調査内容

### (1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 【国語 A・数学 A】	主として「活用」に関する問題 【国語 B・数学 B】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li> <li>・実生活において不可欠であり常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力</li> <li>・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など</li> </ul>

### (1) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査

## 平成25年度「全国学力・学習状況調査」検証シート

大阪市立 旭東中学校

生徒数

191

### 平均正答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	75.0	64.2	64.1	40.8
大阪市	72.2	61.0	59.6	37.1
全国	76.4	67.4	63.7	41.5

### 平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	1.6	2.2	5.3	13.2
大阪市	3.6	4.7	7.2	20.9
全国	2.4	2.8	5.3	16.7

### 結果の概要

- 平均正答率では、国語A・B、数学A・Bのすべてが大阪市の平均正答率より2.8～4.5ポイント高い。
- 全国の平均正答率では、国語B問題に課題がみられる。数学Aは、0.4ポイント高いが、他の全国との差は、0.7～3.2ポイント低い。
- 平均無回答率では、数学Aが全国と同ポイントだったが、国語A・B 数学Bは、全国を上回る。大阪市の無回答率とでは、国語・数学とも大きく上回っている。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、自己とともに他者を大切にすると人権教育をすすめ、集団育成に努めてきている。アンケート調査の結果からは、「自分には、よいところがあると思いますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に多くの生徒が肯定的な回答をしたのは、成果である。しかし、自分の意見を述べたり、思いを表現することに課題があり、言語活動学習をさらにすすめる。

教科に関しては、繰り返し反復練習を行い生徒の個に応じた指導など指導方法を工夫している。

その成果は、国語Aの「書くこと」「読むこと」 数学においては、A・B問題とも「数と式」の平均正答率に現れている。

国語の課題は「文章の構造を把握し、自分の考えを持ちそれを書いたり、人に伝えたりすること」に課題が見られことから、文章の読解力や表現力を身につける指導をすすめる。

数学では、「論理的な思考力、身のまわりにある事象から情報を得て、それを分析し利用する力」に課題がある。

今後は、課題解決のため指導方法の改善をすすめる。また、規則正しい生活習慣を身につけることや、自主的に学習に取り組む姿勢を育て、家庭学習の充実をはかる。

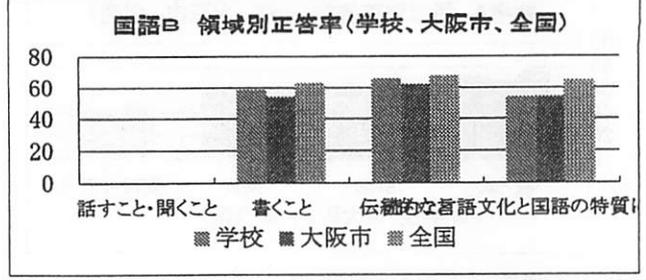
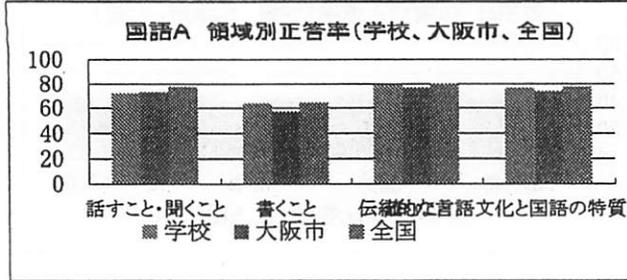
**【国語】**

**結果の概要**

A問題での平均正答率は、75.0%(全国76.4 大阪市72.2%)であり、文章をまとめたり、説明すること、また漢字を書くということも課題がある。平均無解答率は、0.8ポイント全国を上回る。  
B問題の平均正答率は64.2%(全国67.4% 大阪市61.0%)であり、文章の内容について理解・自分の考えを具体的に書くことに課題がある。平均無解答率は、0.6ポイント全国を上回る。

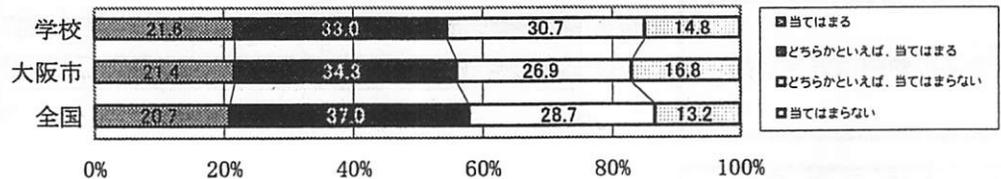
A 問題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	71.9	73.1	77.6
	書くこと	4	63.6	57.3	64.5
	読むこと	6	79.8	76.8	80.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	76.7	73.9	77.5

B 問題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0	—	—	—
	書くこと	3	58.4	54.0	62.7
	読むこと	8	65.5	61.9	67.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	53.7	54.2	64.6

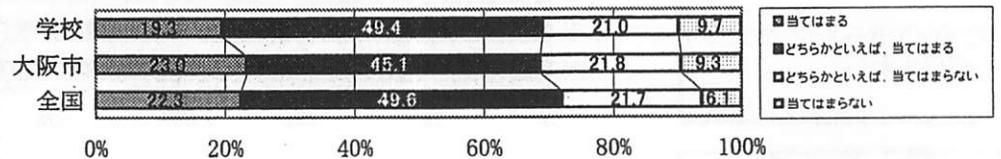


**国語に関する「生徒質問紙」**

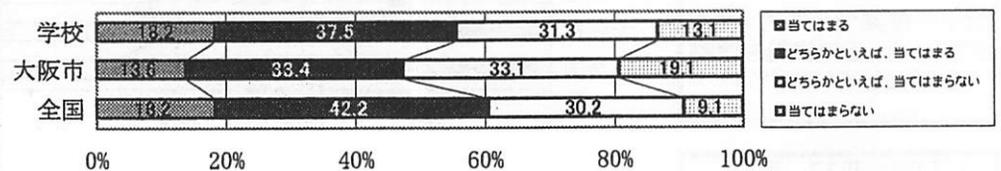
I 53 II 52 III 63  
国語の勉強は好きですか



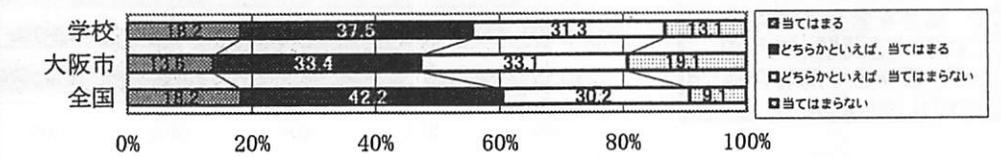
I 55 II 54 III 65  
国語の授業の内容はよくわかりますか



I 60 II 59 III 70  
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



I 67 II 61 III 72  
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか



**成果と課題**

「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか」という質問に対して、肯定的な解答した生徒は、全国より8.2ポイント低い。【国語A】「個々の話の方向捉えて話すこと」に課題がある。【国語B】「自分の考えを具体的に書くこと」に課題がある。  
反復練習を繰り返すことにより、最後まであきらめないという姿勢が見れたのはこの成果である。

**今後の取組**

文章の構造を把握し自分の考えを持ちたり、書いたり伝えたりする力をつける取り組みを強化するなど、さらに指導法の工夫改善に取り組む。

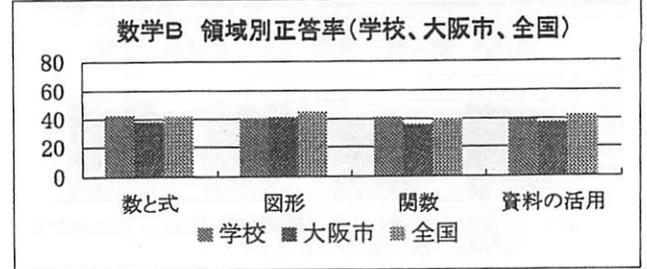
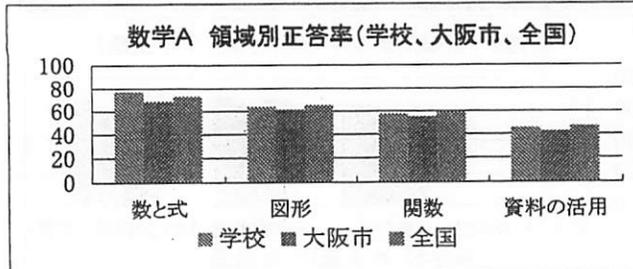
## 【数学】

### 結果の概要

A問題での平均正答率は64.1%（全国63.7% 大阪市59.6%）であり、資料をみて、理解・説明ができ、それを活用するところに課題がある。平均無解答率は、全国と同じ。  
B問題での平均正答率は40.8%（全国41.5 大阪市37.1）であり、文章を読み取り、数学的に説明したり、数学的に解釈したりできることに課題がある。平均無解答率は、3.5ポイント全国を上回る。

A 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領 の 領域等	数と式	11	76.8	68.6	72.7
	図形	12	63.9	60.8	64.6
	関数	9	57.3	54.7	58.7
	資料の活用	4	45.3	42.3	46.8

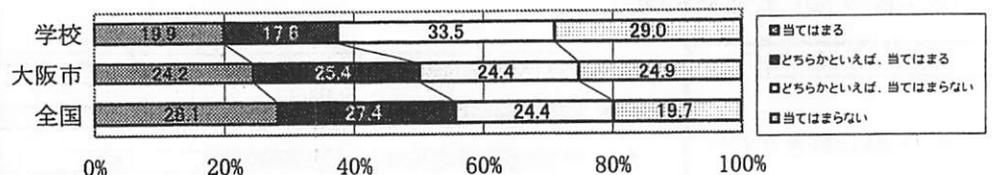
B 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領 の 領域等	数と式	5	42.3	37.6	41.7
	図形	2	40.3	41.0	44.8
	関数	6	40.6	35.4	40.0
	資料の活用	3	39.2	37.1	42.2



### 数学に関する「生徒質問紙」

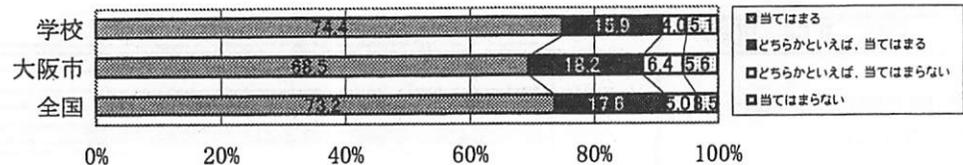
I 73 II 62 III 73

数学の勉強は好きですか



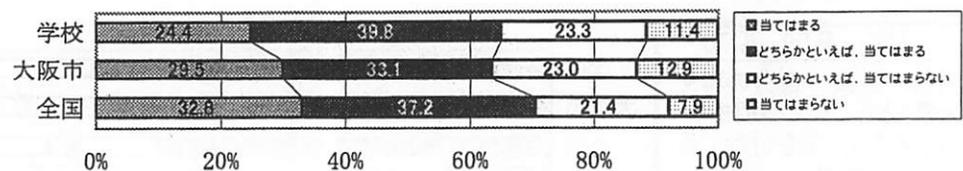
I 75 II 65 III 76

数学ができるようになりたいと思いますか



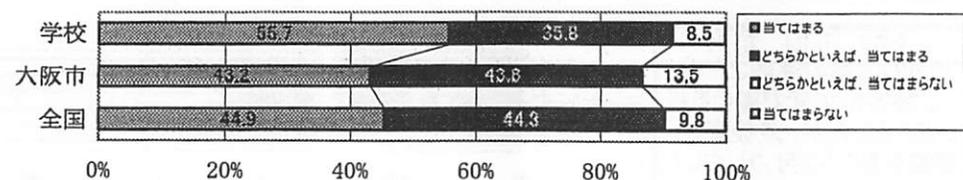
I 81 II 70 III 81

数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか



I 83 II 77 III 83

今回の数字の問題について、解答を言葉や式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか



### 成果と課題

朝学習・補習で、計算力(数と式の分野)の学力はついてきた。【数学A】「証明の意味を理解すること」「資料の傾向を読み取ること」等に課題がある。【数学B】「方針を立てそれに基づいて証明する」「資料からの必要な情報を、適切に読み取る」等に課題がある。

### 今後の取組

「数学の勉強は好きですか」「公式やきまりをを習うその根拠を理解するようにしていますか」の質問に対し全国より18.0・5.8ポイント低い。授業の改善や魅力ある授業の工夫に取り組む。また、朝学習・習熟度別少人数授業・補習の充実を図るとともに家庭学習の定着に取り組む。

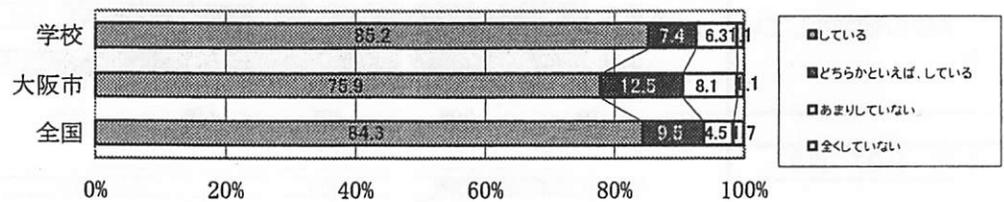
## 基本的な生活習慣・自尊感情・規範意識

### 結果の概要

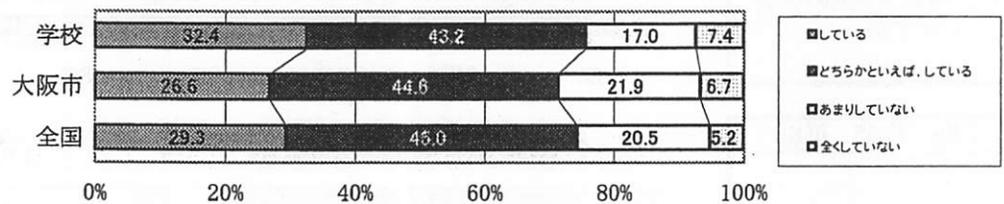
生徒全体の規範意識は高く、落ち着いた学校環境で学習ができている一方で、不規則な睡眠など、生活習慣に課題がある生徒が多くみられる。友人関係を含めて、相手の立場に立って物事を考えることについての項目では、大阪府、全国と比べても高い値を示しており、目標を立てて物事をやり遂げようとするや自分への肯定感などをみると、自尊感情とともに、他者を大切にしようとする意識が高まっていることが垣間見られる。

質問番号	質問事項
------	------

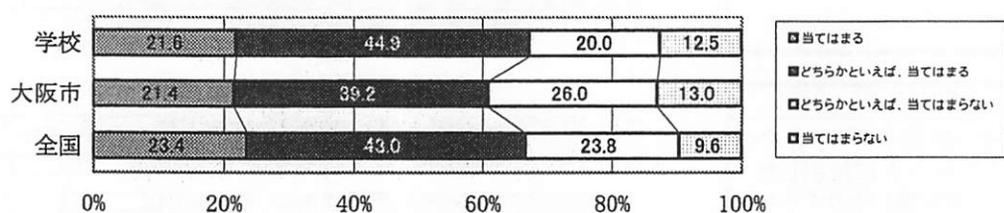
I 1	II 1	III 1
朝食を毎日食べていますか		



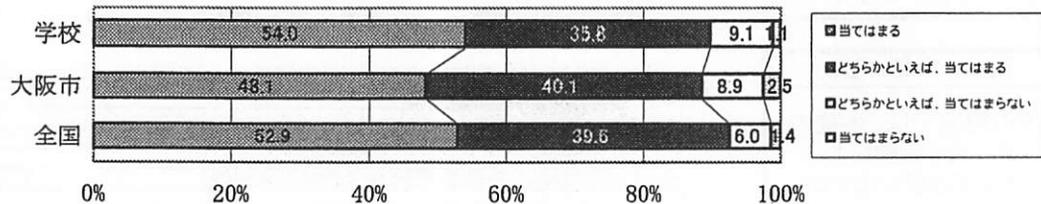
I 2	II 2	III 2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか		



I 6	II 6	III 6
自分には、よいところがあると思いますか		



I 44	II 41	III 45
学校の規則を守っていますか		



### 成果と課題

本校では「自己とともに他者を大切にする」人権教育を進めており、3年間をかけて生徒集団に適した題材と方法を検討した上で学習を行っている。自分に対する肯定感や、いじめや差別を許さないなど、本校が重点的に取り組んでいたことの成果が出ていると思われる。しかし、自分の思いを表現したり、対人関係について、不安を感じるなど課題があることもみることができる。

### 今後の取組

道徳、人権教育のこれまでの蓄積をより深化させ、生徒の現実的な課題にあった教材をこれからも開発し、取り組みを進めていきたい。また、家庭や校下小学校・地域の団体との連携を進めてきており、これらが一体となって課題に対峙していきたい。

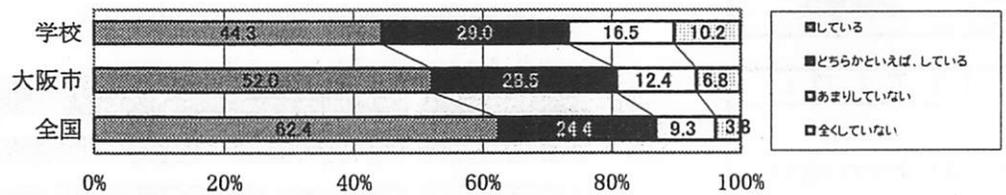
# 家庭学習・読書・学びの質の改善：言語力の育成

## 結果の概要

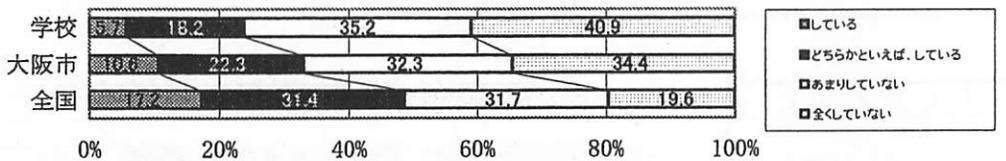
家庭学習についての項目への肯定的な回答は、全国、大阪市の平均を下回っており、読書の習慣や図書館の利用などでも低い値を示している。こうした学習の指導が大きな課題になっている。文章を書くことや自分の考えを発表することに対しては、ある程度、肯定的にとらえている結果が出ているが、話し合い活動や本やインターネットなどを利用した調べ学習のスキル育成について、課題があることを示している。

質問番号	質問事項
------	------

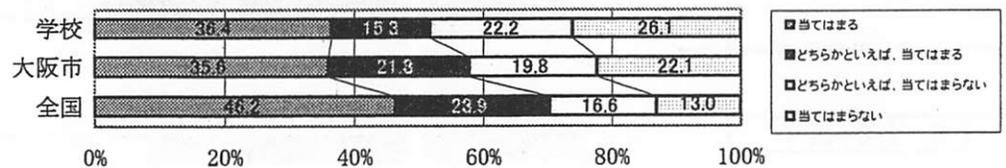
I 30	II 25	III 35
家で、学校の宿題をしていますか		



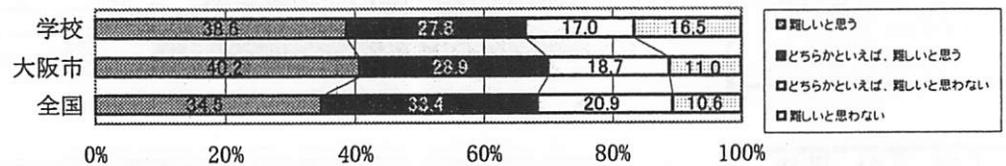
I 32	II 27	III 37
家で、学校の授業の復習をしていますか		



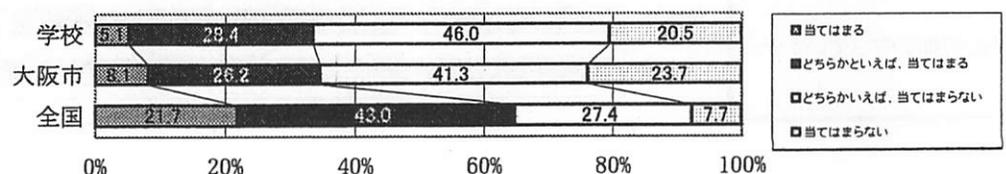
I 56	II 55	III 66
読書は好きですか		



I 52	II 51	III 61
学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思いますか		



I 50	II 48	III 57
普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか		



## 成果と課題

学校行事や人権学習などを進めるにあたって、適した機会に発表活動や文集づくりなどを行っており、生徒の中にこうした活動が定着しつつあるが、授業などで、より言語力の育成を意識した取り組みを進めていくことが課題に挙げられる。また、家庭学習を含めて、学習環境を整えるための方策が求められている。

## 今後の取組

家庭と学校間で、生徒の学習状況について情報交換を進めることができるよう連携を図り、啓発活動を行っている。また、授業力向上のための教職員研修を適宜に行っており、校下小学校との合同研修などをすすめることで、生徒の発達段階に応じた能力の育成を図っていきたい。